

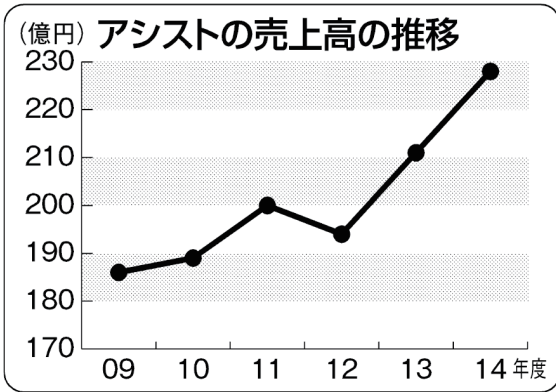
アシスト、人員5割増強

ソフト販売・サポートに力

企業向けソフトウェアを販売するアシスト（東京都千代田区、大塚辰男社長、03・5276・5850）は、ソフトウェアの分野拡大を見据え積極的な人材採用に乗り出す。2017年度をめぐりに人員体制を、現在の870人から約5割増の1300人規模に増やす。取り扱うソフト分野の拡大とともに、サポートなど企業との接点を増やす技術や営業の人材を確保する。このため役割と実績を評価する人事制度を導入。優れた社員の囲い込みや育成につなげる。

新人事制度も導入

アシストは人材面の強化を図る。人材の獲得を加速し内体制を強化し、17年度に売上高300億円を目指す方針。同社は4月に新入社員を34人採用し



に伴いサポートのニーズが増すことから、技術者の比率が今後も高まる見通し。即戦力となる経験者の中途採用も重視し、17年度に派遣社員を含めて現在の1.5倍程度まで人員を増やす計画だ。

また新たな人事制度も導入した。期待される役割と実績を踏まえて評価する仕組みで、技術や営業で専門的な知識や高度なノウハウを持つスペシャリストをそろえる狙いがある。「実力を持った若手社員もスペシャリストとして評価する機会を設けた」（アシスト）としている。今後はスペシャリストに向けた社員の育成も重視する考え。

アシストはデータベース(DB)や運用ソフトなどを扱ってきたが、業務上のルール管理やデスクトップの仮想化分野のソフト販売を強化する方針を打ち出しており、こうした戦略の実行に向けて社内体制を整備する。